

33 カ国リレー通信

<第8回> 米国 (マイアミ)

マイアミの葉巻事情

渡 邊 尚 人

1. マイアミの葉巻

世界でもマイアミ程、葉巻の似合う街はないかもしれません。常夏の気候、燦燦と降り注ぐ太陽と白い砂浜、どこまでも青い空と海、緑の椰子の並木道、行き交う豪華客船や白いヨット等世界有数のリゾート地としての瀟洒な雰囲気とヒスパニック系の明るく開放的な人々の気質。

どの風景でも葉巻を堪能できる条件がそろっているのです。

ナイト・クルーズに招待された時のことです。運河沿いのホテルに横付けされた豪華クルーザーに乗り込むと、笑顔のクルーとカリビアン音楽に迎えられ、シャンパンと葉巻が振舞われました。葉巻は、クルーザーの船内で老練なシガーローラーが巻いたものです。やがて、クルーザーは、ホテルの波止場を離れ、煌き聳え立つ摩天楼の間を縫って満月の浮かぶ夜の海に出奔してゆきます。マイアミの美しい夜景を見ながら嗜むシャンパンと豊潤な葉巻の香りに包まれれば、普段は堅苦しいはずの挨拶も心地よい旋律のように聞こえ、初対面の人々との会話も弾みます。葉巻がコミュニケーションを円滑にする社交の粋な小道具であることを実感する瞬間です。

葉巻と縁の深いスポーツにゴルフがあります。ゴルフは、マイアミの最もポピュラーなスポーツのひとつで、マイアミから車で一時間以内に約 100、フロリダ州内では 1500 も

のゴルフ場があり、タイガーウッズ等の世界的に有名な選手の参加するゴルフ・トーナメントが数多く開催され、ゴルフの帝王ジャック・ニクラウスもマイアミ北部に住んでいます。ゴルフ場では多くのプレーヤーがプレーしながら葉巻を嗜んでいます。体をリラックスさせ、頭脳を明晰にし、ストレスを減らす葉巻があれば、あるいはスコアもあがるのかもしれません。

禁煙が徹底している米国ですが、マイアミの街中では、最近とみにシガーショップやシガーバーが増えています。キューバ人亡命者が多く居住するリトル・ハバナ地区には多くのシガーショップがあり、有名なベルサイユ・レストランのバースタンドでは、朝から晩まで亡命キューバ人達が葉巻片手に、キューバの行方について議論しています。

また、ココナッツ・グローブにある、キューバ・ペテズ・シガー・ラウンジやマイアミ・ビーチのリンカーン・ロードにあるダビドフのデコ・ドライブ・シガーズ等お洒落なシガー・バーは人気で、トロピカルで明るい雰囲気の中、老若男女を問わず愛好家で賑わっています。

2. フロリダの葉巻

フロリダは、スペイン人の征服者ポンセ・デ・レオンが 1513 年に発見し、スペイン領となり 1565 年には、北米大陸最古の町セン

ト・オーガスティンが建設されています。その後 1763 年英国植民地となり、1821 年には米西戦争により米国に割譲され、1845 年には、米国 27 番目の州となりました。1885 年には、スペイン生まれでキューバに渡ったビセンテ・マルティネス・イボールが気候、地の利、輸送インフラ、低廉な労働力、市の補助金等の有利さを勘案して当初キー・ウエストにあった自分の葉巻工場をイーボル・シティー（現在タンパ市地区）に移し、葉巻生産を開始します。イーボル・シティーでは、1886 年には毎月 90 万本の手巻きシガーが生産され、1900 年には、「世界の葉巻の首都」とも呼ばれ大恐慌直前の 1929 年の年間生産数は 5 億本と隆盛を極めます。しかし、大恐慌と機械式紙巻タバコの隆盛に押され、没落し、今では、レストランやクラブ等のある歓楽街となっています。

米国では、1962 年ケネディ大統領が課した禁輸措置により、キューバ葉巻は現在まで 46 年間全く吸えません。右には、裏話があり、ケネディ大統領は、対キューバ禁輸の直前に、サリンジャー・ホワイトハウス報道官に一千本のキューバ葉巻「プティ・アップマン」を取り寄せるよう命令し、無事葉巻が取り寄せられた後、おもむろに対キューバ禁輸令に署名したとのことです。このため米国にキューバ産葉巻を持ち込めば税関で没収廃棄となります。

世界最高峰のキューバ葉巻が米国で吸えないのは本当に残念です。今後、キューバ国内の変化により、米・キューバ関係が正常化し、キューバ葉巻が米国で堪能できる日が来るのを心待ちにしている米国人は多いのです。

キューバ葉巻に代わり、米国内では、ニカラグア、ドミニカ共和国、ホンデユラス産の葉巻が人気です。最近では、ニカラグア産「パドロン」が売り筋、質ともにナンバー・ワン

の高級葉巻として不動の地位を確立しています。もはやキューバ産葉巻と比べる必要の無い程の独自のアイデンティティを確立しています。葉巻のラッパー（外巻葉）、バインダー（中巻葉）、フィラー（充填葉）全てを自国で生産できるのは、世界でもキューバとニカラグアだけです。米のシガー雑誌「シガー・アフিশιονナード」2月号の年間ベスト・シガーはパドロン 1926 でした。6月号のシガー・レーティングでも、「パドロン」は、ダブル・コロナ部門で一位の 92 点、トルペード部門で 2 位 91 点と高い評価を受けています。

3. 至高の葉巻「パドロン」

最高級葉巻「パドロン」は、1964 年、キューバから逃げてきたホセ・パドロン氏がニカラグア北部のエステリ市に創業したものです。私も数年前、その工場を訪問しましたが、質素な外観とは対照的に内部は、極めて行き届いた品質管理、葉巻ローラーの熟練度、葉を濡らす水でさえ、塩素の入った水道水ではなく、雨水をつかうというこだわりがあり、工場長の「パドロンは初心者葉巻ではなく玄人のものだよ」という言葉に、品質への絶対的信頼と誇りが伺えました。ニカラグアには、パドロンの葉巻農園と工場のみがあり、全世界に向けた営業や販売は全てマイアミで行っています。このため、ニカラグアでは、パドロンの葉巻は輸出用のみのため、空港販売店以外一般には入手できないのです。国内市場に出回っているパドロンは偽物の可能性が高く注意が必要です。

一昨年マイアミにパドロン社を訪問した際、会長のホセ・パドロン氏が朝から葉巻を吸いながら同社の歴史につき熱く語ってくれました。朝食後から葉巻を嗜むとのことでした。また、今年 6 月再度同社を訪れた際には、カデア国際渉外部長よりパドロンの生

産量は、例えば 1926 シリーズ 4 種類で年間 10 万本と少なく少数厳選主義を貫いていること、値段は 2007 年 8 月に一度上げたのみであるが、売り上げが 20% 増となっているとのことです。

パドロンの魅力は、徹底した品質管理と化学薬品を使わない水と太陽のみでつくること、そして、熟練の葉巻ローラーによるもので、古きよき古典的キューバ葉巻を目指し、現在では、キューバ産を越える独自の複雑な味わいを確立しているとのことです。欧米、オーストラリア、台湾、マレーシア、タイ、カンボジア等に輸出しており、本年はついに日本市場上陸を目指したいとのことでした。

4. 葉巻の世界

新大陸で生まれた葉巻は、世界の政治経済社会文化と密接に絡みながら高級嗜好品として、また、貴重な経済的商品として世界中に流通し、各国経済を潤し、人生を満喫したいと望む人達に愛され続けてきました。葉巻は、ステイタスシンボルとして、粋な紳士淑女のライフスタイルの一部として世界の各界の一流人に愛されながら多くのエピソードをうんできています。

米のボルカー元連邦準備制度理事会議長は、葉巻好きで、彼の執務室に葉巻の香りが漂っている間は、アメリカ経済は大丈夫だといわれ、まさにその通りでした。クリントン大統領も禁煙のホワイトハウスでは葉巻をくわえているだけでしたが、95 年のボスニアでの米軍パイロット捕虜救出作戦成功時にはホワイトハウスのバルコニーで葉巻に火をつけて祝ったのでした。

また、歴代の米大統領で葉巻好きは 19 名もいるのです。第 2 代ジョン・アダムス、第 4 代マディソン、第 6 代アダムズ、第 7 代ジャクソン、第 10 代ジョン・タイラー、第 12

代テイラー、第 17 代ジョンソン、毎日 15 本吸ったといわれる第 18 代グラント、第 21 代アーサー、第 23 代ハリソン、第 25 代マッキンリー、第 27 代タフト、第 29 代ハーディング、第 30 代クーリッジ、第 31 代フーバー、第 35 代ケネディ、第 36 代ジョンソン、第 42 代クリントンそして第 43 代ブッシュ現大統領です。

世界のリーダー、指導者、トップに要求される沈着冷静な判断、落ち着き、寛容さ等は、葉巻を喫煙する余裕のある者こそが持てるとも言えます。かといって気後れや先入観を持つ必要はありません。人生の幸福を得たいときに或いは単においしくて好きだからとの単純な理由で気楽に吸うのがよいのです。決して偉くなって吸おうとは思えないのが良いでしょう。けだし人間は、偉くなったと思いたい頃には楽しんで吸うための人生の十分な時間はもはや残っていないからです。今吸い始めることが大事で、吸い始めるうち人生のあらゆる偉大さが身についてくるのです。実に葉巻には人生の秘密が一杯詰まっているのですから。

(わたなべ・なおひと 在マイアミ日本国総領事館
首席領事)